

# Ciscoスマートライセンスサーバとの通信の失敗

## 内容

---

- [Cisco Smart Licenseサーバとの通信の失敗](#)
  - [ICSeverity](#)
  - [影響](#)
  - [説明](#)
  - [Syslogメッセージ](#)
  - [メッセージサンプル](#)
  - [製品ファミリ](#)
  - [正規表現](#)
  - [推奨事項](#)
  - [コマンド](#)

## Cisco Smart Licenseサーバとの通信の失敗

### ICSeverity

#### 5 – お知らせ

#### 影響

DNSがアドレス指定されると、デバイスは後で接続を再試行します。

#### 説明

このエラーは、デバイスにスマートライセンスが設定されている場合に表示されます。Smart Licensingは、シスコ製品全体のライセンスを管理するためのクラウドベースの統合ライセンス管理システムです。ネットワークのタイプと設定によっては、CSSM(Cisco Smart Software Manager)ポータルとの通信方法が異なる場合があります。

CSLUまたはオンプレミス方式を使用していて、デバイスとサーバ間の通信に問題がある場合は、次のエラーが表示されます。これは、DNSルックアップの問題または設定の問題に関連している可能性があります。%SMART\_LIC-3-COMM\_FAILED: Cisco Smart License Utility(CSLU)との通信エラー：サーバのホスト名/ドメイン名を解決できません。

このエラーは、リロードまたはアップグレード後にデバイスがブートアップした場合にも表示されることがあります。いったん登録したデバイスがポータルに正しく登録されている場合、このエラーは無視できます。この問題を解決するには、修復手順を確認してください。

#### Syslogメッセージ

%SMART\_LIC-3-COMM\_FAILED

## メッセージサンプル

Apr 10 10:10:10 <> %SMART\_LIC-3-COMM\_FAILED: Communications failure with the Cisco Smart License Utilit

## 製品ファミリ

- Cisco Catalyst 9200 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9400 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9500 シリーズ スイッチ
- Cisco Catalyst 9500Hシリーズスイッチ
- Cisco Catalyst 9600 シリーズ スイッチ

## 正規表現

N/A

## 推奨事項

デバイスがCSLU IPアドレスにpingできることを確認します。ドメイン名が通信に使用されている場合は、DNSサーバが正しく設定されていることを確認します。CSSMポータルとの通信に使用する正しい「送信元インターフェイス」を指定する必要があります。コマンド：

Switch(config)#ip name-server Switch(config)#ip domain-lookup [source-interface]これがVRFセットアップの場合、使用されているVRFに応じて次のコマンドを使用します(config)#ip domain-lookup [source-interface] <<— "ip vrf forwarding "インターフェイス(config)#ip name-server vrf HTTPs client source-interfaceが正しいインターフェイスに定義されていることを確認しますコマンド： ip http client source-interface VRFが使用されている場合、コマンドを使用します。コマンド： Switch(config)#ip http client-interface次のコマンドを使用してcsluに設定されます。コマンド： Switch(config)# license smart transport cslu

次のURLに従って、正しいCSLU IP/ホスト名が設定されていることを確認します。

URL:<http://:8182/cslu/v1/pi>注：自動検出を有効にするため、デフォルトのURLは「cslu-local」用に設定されています。このオプションを使用する場合は、ホスト名cslu-localをCSLU IPアドレス（CSLUをインストールしたWindowsホスト）にマッピングするエントリでネームサーバを設定します。その他の設定は必要ありません。製品インスタンスは、ホスト名cslu-localを自動的に検出します。上記のすべての設定が確認され、正しい場合は、コマンド「license smart sync all」を使用してCSLUとのライセンス同期を手動で開始できます。これにより、デバイスは手動でCSLUユーティリティとの再同期を試みます。Cisco IOS XE 17.3.2および17.4.1以降のリリースでは、ポリシーを使用したスマートライセンスが導入されました。これらのコードに対する最近のアップグレード後にエラーが表示され始めた場合は、さまざまなオプションを説明した次の移行ドキュメントを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/switches/catalyst-9300-series-switches/216520-migrate-catalyst-license-to-smart-licens.html>

## コマンド

#show version

#show logging

#show license all

#show license summary

#show call-home profile all

#show tech-support license

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。